



E:Education
for
S:Sustainable
D:Development
O:omagari
m:minami

H.29.6.9 No.2

大曲南中学校 2年生 環境エネルギー学習報告

学年テーマ『地域から学ぶ～自己と環境，社会とのかかわり』 秋田市校外学習



2年生の今年の総合的な学習は、エネルギーを通して環境を考えていきます。
5月30日（火）にユーラス秋田港ウインドファームと秋田市環境総合センターを訪問してきました。
ユーラス秋田港ウインドファームは、風力発電用の風車を6基稼働させており、年間発電量は一般家庭1万2千世帯分（※平成28年秋田県の世帯数は約39万世帯）だそうです。秋田市総合環境センターは、ガス化溶融炉を中心とし、資源ゴミ以外のゴミを再資源化する施設です。さらにゴミの熱エネルギーを回収し、発電を行っています。メガソーラー発電も併設しています。2つの施設を見学し、疑問点を質問しながら、エネルギーについて考える活動をしました。

ウインドファームを見学して、ここだけで秋田県の1万2千世帯をまかなえていることに驚きました。コストがかかるし、供給が安定しないけれど、二酸化炭素が排出されず環境に優しいので、このようなクリーンエネルギーでの発電が広がるとよいと思いました。環境センターでは、ごみの処理について学びました。ペットボトルは糸にして服にしたり、燃えないごみは溶かして砂がわりにしてコンクリートに混ぜたりと、普段捨てているごみを無駄なく使っていることが分かりました。自分が取り組めることを行って、ごみを少しでも減らせるようにがんばりたいです。
(生徒の感想から)



ユーラス秋田港ウインドファーム



秋田市総合環境センター

今回見学して、風力発電の可能性、そしてそれが全てではないことを学びました。風力発電の風車は、現在の風を最大限生かせるよう向きを変えるなど工夫をしているそうです。しかし、風が吹かない時は発電できないうえ、風力発電が秋田県の消費電力を補う量はまだまだわずかです。だから風力発電が全てではないのだなと思いました。また、環境センターでは担当の方から「今自分にできることを」というお話がありました。いきなり大きなことはできません。私は今後の調査で、発電等も含め、今すぐ始められる効果的な資源の活用方法についても調べていきたいと思いました。
(生徒の感想から)

見学前の事前学習で2つの施設について調べて、各自が質問をもって見学しました。係の方の説明の中で、それらの多くは解決し、事後の学習で新たな課題を設定しました。この後、自分の課題について調査していく予定です。